

さとやま通信 第19号

1. 2012年2月5日の観察記録

先週の寒さも週末はやわらぎ、冬の観察会にはうってつけの天候でした。やはり今冬は冬鳥が少ないよう。アカガエルも姿を見せてくれず、ちょっとさびしい気もしましたが、総勢29名の参加者があり大盛況でした。

- ☆ 参加者： 29名
- ☆ 植物（花）： 8種
- ☆ 昆虫・クモ： 18種
- ☆ せきつい動物： 21種
- ☆ その他（加・貝等）： 1種



思い思いに水生昆虫、トウキョウサンショウウオを探して @下ノ川

2. 水生昆虫、始めました！

手の切れるような冷たさの水の中、水生昆虫の探索を始めました。ヤゴ、カワゲラ、カゲロウ、トビケラなどを、水底の石の裏などから見つけました。



シロタニカワゲロウ



ナミトビイロカゲロウ



エルモンヒラタカゲロウ



ナミウスムシ



ミスムシ



ヤマトカワゲラ？



ミルンヤンマ？



トビケラ sp？

同定にあまり自信がありません。間違っていたらご指摘ください！ 特に最後はトビケラのような気がします。対応するものが見つかりませんでした。

3. カメムシ



ヨコツナサシガメ



セズジナガカメムシ



クロサシガメ?

ヨコツナサシガメは毎年観察されている中央湿地の木で今年も越冬していました。他の2つはピーティングから。セズジナガカメムシのほうは死骸のようです。クロサシガメは???

4. チョウ・ガ



テングチョウ



ウスジガマユ



カハガマユ?

下ノ川の奥で、越冬中のテングチョウを発見。翅をひろげ太陽の光を浴びると、体温が上がったのか、飛んで行きましたね。ウスジガのマユは天竺山への途中で発見。いつ見てもきれいな色、不思議な形です。三内神社ではヤマユのなかまのような不織布で出来たマユを見つけました。これはカハガのなかまのマユではないでしょうか?

5. クモ

下ノ川で、氷の上をスジプトハシグモが次々と糸を出しながらスケーティング。三内神社でヒラタグモ。ピーティングでは枝のまねをしたマネキグモを見つけました。このクモもオナガグモと同じようにクモを食べます。



スジプトハシグモ



ヒラタグモ



マネキグモ

6. その他

天竺山への道すがら、タヌキのタメフンが2か所。ほとんどがジャルヒゲのようでした。これで冬場をしのいでいるのでしょうか? また予定通り(?)中央湿地でカヤネズミも姿を現してくれました。逃がす際、手のひらからなかなか下りてくれませんでしたね。最後の写真は越冬中のヒメカメコテントウです。(ピーティング)



タヌキタメフン



カヤネズミ



ヒメカメコテントウ

【 あとがき 】

昨年の記録を見間違えていたようで、期待していたアカガエルやトウキョウサンショウウオの産卵にはちょっと早かったようです。2/7の雨と気温に期待しましょう。次回の探検隊は3/4です。来月には必ず！！

文責 篠原

Mail: shino_nature@train.ocn.ne.jp